



# NIPPON CHANGE

**For Adult Only!**

成人向  
同人誌

Presented by NikuRingo (Beef&Apple)

# NIPPON CHANGE

*NIPPON CHANGE*

★注意★

★この作品はフィクションです。  
物語上行われる行為などを現実に行う事は  
犯罪となる恐れがあります。

☆ハジメニ☆

どもども、兄弟です。

今回のネタは、兄貴が  
「脚本が靖子さんで良かったね、シンケンジャー」と  
弟が「長い年月連載され、ある意味純潔なのが  
エロイ！ 何年経ってもまだバージンああっ女神様っ」  
でゴザイマス。

内容的には、いつもと少し趣向を変えてみよう  
ってのが発端で、タイトルもまさにソレを表す  
「CHANGE(チェンジ)」を使った  
「NIPPON CHANGE」ということで…  
「チェンジ」って「変る」とか？「変化」とか？  
そんな意味合い。

兄は、今回の作風をちょっとM男風味に  
弟は、いつもよりねっとり流れを描写する  
感じで本番の薄い漫画をw

あんま、変ってないかもしれないけど  
そこは、愛嬌と言う事で、ヨロシコ♪

まあ、試行錯誤は回り道、されどソコに賭した  
時間が人を進化させ、退化させると(どっちやねんw)

まま、楽しんで頂けたら、何よりでゴザンス☆

カクガリ兄弟

2009/12

(はやく「BATMAN THE BRAVE & THE BOLD」  
の第2シーズン始らないかな～)



★パソコンの起動音に驚くベルダンディーの図

あるお寺に  
女神様と青年が  
一緒に暮らしていました

女神様の名前は  
ベルダンデー

彼女はとても優しく…

とても清楚で美しく…

ちよつと  
オツチヨコチヨイな  
時もあるけれど…

とても素敵な  
女神様なのです

えーと  
料理の「さじきせき」  
の「こそし」は…  
ソース？ ソルト？  
ソイソース？

しかし女神様には  
「無垢」という  
欠点がありました

「性」というものを  
まったく知らない  
ほどの…



そんな蛭一を可愛そうに思った  
優しい女神様は…

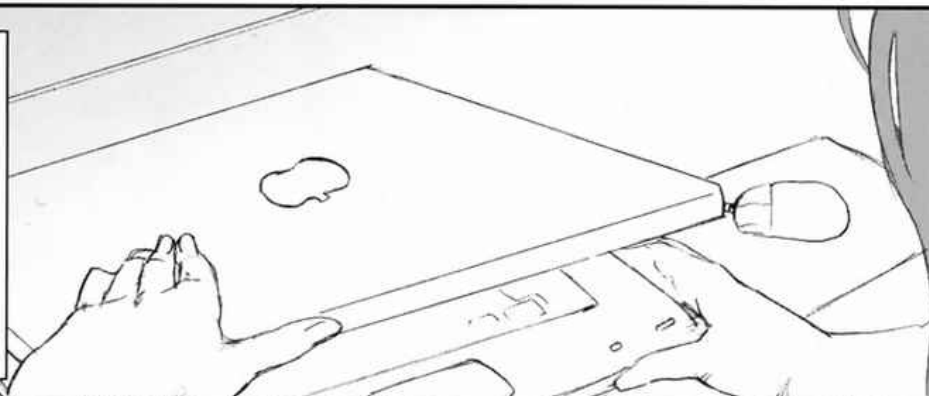


自分の「無垢」と「無知」  
を激しく呪ました



そしてある日—

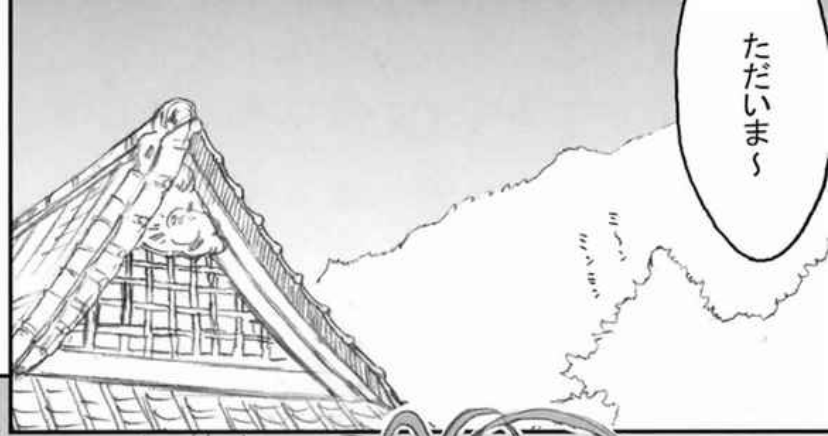
女神様は愛しい蛭一の為  
禁断の知識の箱を開き…



女神の力を使い…  
人間の行う全ての  
「性の知識」を  
手に入れて  
しまったのです



おかえりなさい  
蛍一さん♥



ただいま



えっ！  
ベルダンディー？  
なっ…何んか…

ドキドキ

ドキドキ



フツッ今日は  
早かったのですね♥

ホッ！



いつもと  
雰囲気…

…こけおと…

キョ

キョ



違うね…

体形と声も…

キョ

ムッ



ええ♥ 蛍一さんが  
喜ぶかと思いましたが…  
お嫌いでしょうか？

フツッ

フツッ

フツッ

巻よ♥ エロタビディー  
カクガリ兄弟



私こんな格好してたからかしら...今日はなんだか体がほてってしまつて...

いやそりゃあ超...いや...嬉しいよ

目のやまに困るほど...

フツッよかった♥  
...ねえ蛍一さん...



スツゴク汗かいたちやつたみたい...ホラッ♥

おおツ！スツゲー腋汗！

日というかよくわからなけれど今日のベルダンディーはなんかエロいぞツ！



それにオレの大好きなこのフェティシユなシチュエーション...

蛍一さん♥

私ニオワナイ...かしら？

べつベルダンディーそのセリフは...期待に股間が反応しちゃうよ



あの...蛍一さん...私の腋のニオイ♥...嗅いでみて下さいませんか？

ヤッ...ヤベッ...理性が...









まあ キツカケはともあれ  
その気になってくれたのは  
嬉しいけど



しかし...  
バレないように  
やっていたんだけどな...  
やっぱり女神様のお力か...



うはッ♡

フッフッフッ...  
それしても  
この美しい後姿は  
また何とも  
エロティックだな

スタ  
スタ...



うはッ♡  
やっぱり女神様  
見抜いてらっしゃる  
しかしコノ情けない  
俺の格好...でも  
チンポは大反応...ハハハッ

スタ...  
スタ...

このナイスボディな  
プロポーションに  
挑発的なミニスカート  
漂ってくる女の香り...



キュッ  
怒られたーッ  
...  
でもシアワセッ♡



フッフッフッ♡  
ここでは恥ずかしい  
ですわ螢一さん♡



さっきの腋の  
ニオイと言  
俺のツボ  
付きまくリッ♡





ホラッ♥どうですか？  
大好きな女神のアンヨの  
ニオイは…？



ふふッ♥  
いいニオイだ  
なんて…

クサイ♥  
…って言うって  
下さい♥



ハッ



んふふッ♥  
クサイニオイで  
こんなにオチンポ  
ギンギンにして♥

あらあら♥  
オチンポからチン汁が  
染み出てきましたわ♥

んっ…うん…  
スゴクいいニオイが  
…するよ



それにさつきから  
チラチラ見える  
パンティの何と  
エロイ事かッ！



ホラホラッ♥  
もっくとクンクン  
して感じて  
下さい♥

ああッ…ベルダンディー  
すこいよ♪  
さっきの腋といい…エロイ  
ニオイがドンドン…



まるで俺の  
チンポの興奮に  
合わせるかの  
ように…  
強くなつて…



普段は清楚な  
ベルダンディーが  
こんなエロイ格好して

俺の好きなフェチ部分から  
挑発的なエロイニオイさせて…



まるで今まで夢見てた  
シチュエーションと同じだ  
…コレだけで俺…イ…



フツッ♥  
蛸一さん♥

あッ!

可愛いですわ♥

クッサァイアノムに  
こんなに夢中になって…  
恥ずかしいですわね♥  
…でもそんな蛸一さん…

んッ!





ビロビロ

んあツ♥  
女神のこのエロイ  
おクチで下品にオチンポを  
ご奉仕する姿を…♥

あああツ！  
ベルダンディーツ！



スーッスーッ

フフツ♥いま  
オチンポしやぶって  
…って思ったでしょ  
蛭一さん？

あ…い…  
…うん…



スーッスーッ

はあツ オチンポお  
…ご奉仕しますわ  
オチンポお♥  
女神のおクチで…  
隅の隅まで…丁寧に

ハアツ♥フツ♥  
オチンポ汁♥  
女神の頬擦りで  
クツサイお汁が  
こんなに溢れて  
いますわあ♥

アアツ！



あんツ♥蛭一さんの  
エロオチンポ臭  
たまらないですわあ♥

ああん♥  
オチンポ臭も  
たまらない♥

ああツ！

あん♥もつと  
ご奉仕させてえ♥  
性処理女神にご奉仕  
させて下さい♥



アツ

んはあ♥クサイ…  
クツサイですわ♥  
私の足のニオイと  
混ぜて…すこく  
下品なニオイ♥

ああツ

はあツ



あんツ♥んひツ♥ぶひツ♥  
先ッぽオ♥先ッぽが  
一番エロクツサイですわツ♥  
エロいザーメン臭が  
プンプンにおつてきます♥

ズツ

ズツ









あああ  
ああッ!

ひいーッ!  
チンポが別世界に  
吸い込まれていくーッ!

くふッッ!



ンポッ♥

ああーッ!  
ベル...ッ  
ああああんッ!

ハアッ



流石女神様♥ まるでチンポだけが...

ハアッ

天国に居るみたいだ



フッ♥

ンッ♥

ふふッ♥ もっと  
天国にして差し  
上げますわ

あつ 頭の中に  
ベルダンディー  
の音が...思念?

ンハッ!



おおお  
おおッ!

んふッ♥  
蛭一さんが  
大好きな  
ワ・キ・ゲ♥



ふふッ♥



ああ...女神様に  
腋毛ッ!  
なんて下品で  
エロいんだッ!  
それに超エロい  
ニオイが漂って...

あああーッ!  
俺ッ! もう  
辛抱堪らんッ!



フツッ♥  
 ガーメン♥  
 蛭一さんの  
 ザーメン下さい♥

ああっ！  
 うあっ！

プリップリの  
 ザーメン♥  
 性処理女神に  
 恵んで下さい♥

クアツ！ スッゲーッ  
 腋のエロ臭と隠語の  
 語りかけが相まって！

アアツ！ベルツ！  
 アアツ！ベルツ！  
 イクツイクよツ！

んふーツ♥  
 射精してーツ♥  
 クツサイザーメン  
 で性処理女神を  
 汚して下さい♥

ふああああッ！  
 イクーツ！

フツッ♥ンオツ♥  
 どうです蛭一さん  
 エロ臭女神の腋見せ  
 オチンポご奉仕は♥

アアツ！  
 ああツ！…超エロイよ  
 ベルダンディーツ！  
 ンアアツ！

フツッ♥ンホオ♥  
 私もおチンポご奉仕で  
 オマンコぐちよぐちよに  
 なってますわ♥



はあん♡  
腋ーッ♡  
ザーメン 腋射ッ♡  
ああんッ♡  
スゴイッ♡  
あぁッ♡

はっ♡  
ザーメン♡  
ザーメン♡  
ザーメン♡

ンホッ♡  
ザーメンッ♡  
クツサイザーメン  
出てるーッ♡



ブーッ♡  
ブーッ♡

ホオオオ♡  
クツサイのが  
お鼻からあ  
ンハイーッ♡  
ブヒイッ♡  
ブヒイ♡

ズンズンッ♡



ヒッ♡  
ヒッ♡  
ヒッ♡

これからも私で…  
いっぱい性処理して  
下さいね…フツッ♡



んふう♡ あむっ♡  
んぐっ♡ んむっ♡  
ねえ…蛭一さん…



ハアハア…  
ベルダンディー  
すっごく良かったよ…



★この日の成果

<イッた回数>  
森里 5回  
ベルダンディー 3回

<内訳>  
オクチ 2回  
足コキ 1回  
スマタ 1回  
腋コキ 1回



おれ、隠れてやるでしょ...  
ウルドは、参加してるだけぞ



★弟かく語りき

おおッ！ ついにココまで！ 漫画のオチが食い込んでw  
そこまで、オチを書きたいのか？って感じですが、  
ちょっと笑えて抜ける漫画、「エロコメ」好きなので許して下さいませ。

さてさて、今回の漫画の内容、いかがだったでしょうか？  
オイラ的には、痴女・匂いフェチが大好きなのでソレを主軸にねっとり描いてみました。  
ドカンドカンとダイジェスト的に行為を見せていくのも好きなのですが、  
こういった、ゆっくりとネチネチとやるのも、また好きであります。  
ただ製作中は、パンチが無いかな？と不安になる事が度々...  
ただ、ひとつ貫いてみました(本番無いけどw)  
少しは皆様の股間が反応するモノになっていれば嬉しいです。



当初のネームでは、冒頭でウルドが起爆剤となり、ベルダンディーが動くという計画だったのですが、  
およそ7ページの冒頭となったので、  
今回のように、シンプルに形に...  
まあ、女神様がネットで「人間の性の全て」を知ってギミックと「エロダンディー」ってフレーズが今回の決め手でした。

◎痴女系で、今回は、  
◎崖語、  
◎女子(ニオ系)、  
◎取女系、  
◎IPB

作画的には仕上げに時間取れませんでしたでしたが、  
楽しんで描けたのは良かったですね。  
あまりの楽しさに、疲労も相まって明日、死ぬんじゃないかと思っただけですw  
予定より、濃い作画になったけど股間に伝われば嬉しいですよ...ハイ！

★ちなみに、ベルダンディーの首の「H」マークの  
チョーカーは「エッチ」または「変態」の意味では無く  
「ポーポポ・ポーポポ」が付けている  
「ハジケリスト」のネックレスの「H」から来ています。  
そりゃ、ベルダンディーもハジケるわな〜♪

兄かく語り

さて今回のネタは『シンケン』です。  
まあそれ以外にも2つ位自分の中で候補が  
あったんですが、まあ元ネタはさほど悩まず  
決まりました。

で、内容面ではちよいと今までの  
Sっぽく女の子を責めるカンジとは  
変えてみよっかな、と。

ま、ゆうても当初は完成形と違って  
もっとハードめに女の子が男性をなじる  
展開を考えていて、ヒロイン二人が、  
すし屋さんを責めるプロットだったんですが…

せっかく原作に『黒子』という印象的な  
キャストがいるので、何となく、それを使って  
読み手とのシンクロが図れたら楽しいかなと。

そこから、  
ヒロイン二人とは非接触で  
互いに自慰行為を見せ合う…  
てな流れに。

本文も、当初は完全M属性向けの、一方的に  
『黒子(読み手)』がなじられる展開から  
少しシフトして、今までのテイストも含ませ  
なんか男女間で相互的なエロのキャッチボール  
(何ソレ?)ができればな、と。

上手くいったかなんてワカランのですが、  
試行錯誤の中でも結局、楽しんで作業できたので、  
本人的にはまずまず。

でも今回の自慰行為に特化した、メタ的な方向ってのは  
また今後も試してみたいな、と思いました。



黒子 影と成り、侍を支える従者。

顔を、己の個性全てを隠し  
声を、想いの全てを発する事無く

その存在全てで、侍に尽くす者……

貴方も、例外では無い。



それは一度(ひとたび)  
この黒装束を纏った時から

一言も発する事無く

想いは全て、己が胸の内に

そう、いつ、如何なるときでも……





「ちょっと、ことは！ この格好が本当に正装なの？」

「そうや、ウチら女の侍はホンマはちゃんとこれ着て殿様の、『夜のお相手』もせな、あかんねんで」

「私はそんなの聞いてなかったけど……それにこのフンドシ？ 恥ずかしいし、あんツ☆アソコに喰い込んで……キッツいんだけど……」

「んー？」



顔を隠し……  
声を発する事無く……

「お尻突き出すと、もう辛抱たまらん感じ？」

「え？ あ、うん……」

「なら丁度ええよ♪ ウチら牝方のフンドシはお股にギューっと喰い込ませて、アソコが擦れて、まともに歩けん位が良いんだ、ってお姉ちゃんが言うもったし」

「なっ、それホントに！？」

「うん、歩く度アソコに刺激受けながら、殿様の部屋まで行くんやて。部屋に着く頃には……本当に堪えきれん様になつとるから、後は殿様の良い様に可愛がってもらええねんて♪」

「確かにこんな喰い込んでたら、ちょっと歩いただけでおかしくなっちゃうかも……じゃあ、イザって時が来たら私達、こんな恥ずかしいフンドシ姿で、股間コスリながら自分から歩いて……丈瑠にやられに行くんだ……」

「あはッ♪ 菜子ちゃん何でお尻振ってはるのー？」

「べ、別に…あっ・はッ・いやあんツ☆」

ハアハア……一言も発する事無く……

想いは全て、己が胸の内に……ハアハア……



ガタッ！！

『誰ッ！？』

「なんやビックリした～ 黒子さん、何してはったんです……きゃあ！」

「ふーん、下半身丸出しにして、ずっと覗いてたって訳？ しかも、ただ覗いてただけじゃない……」

「え？ 菜子ちゃん……どういうこと？」

「変なトコ出して、私達のフンドシ姿見ながらシコってたんでしょ？ ねえ君ちょっと？ ……」

「そっか、黒子って喋っちゃダメだったっけ……」

「はあ、男の人って、こないなとるんや……ウチ初めて見たけど、なんか気持ち悪い……」

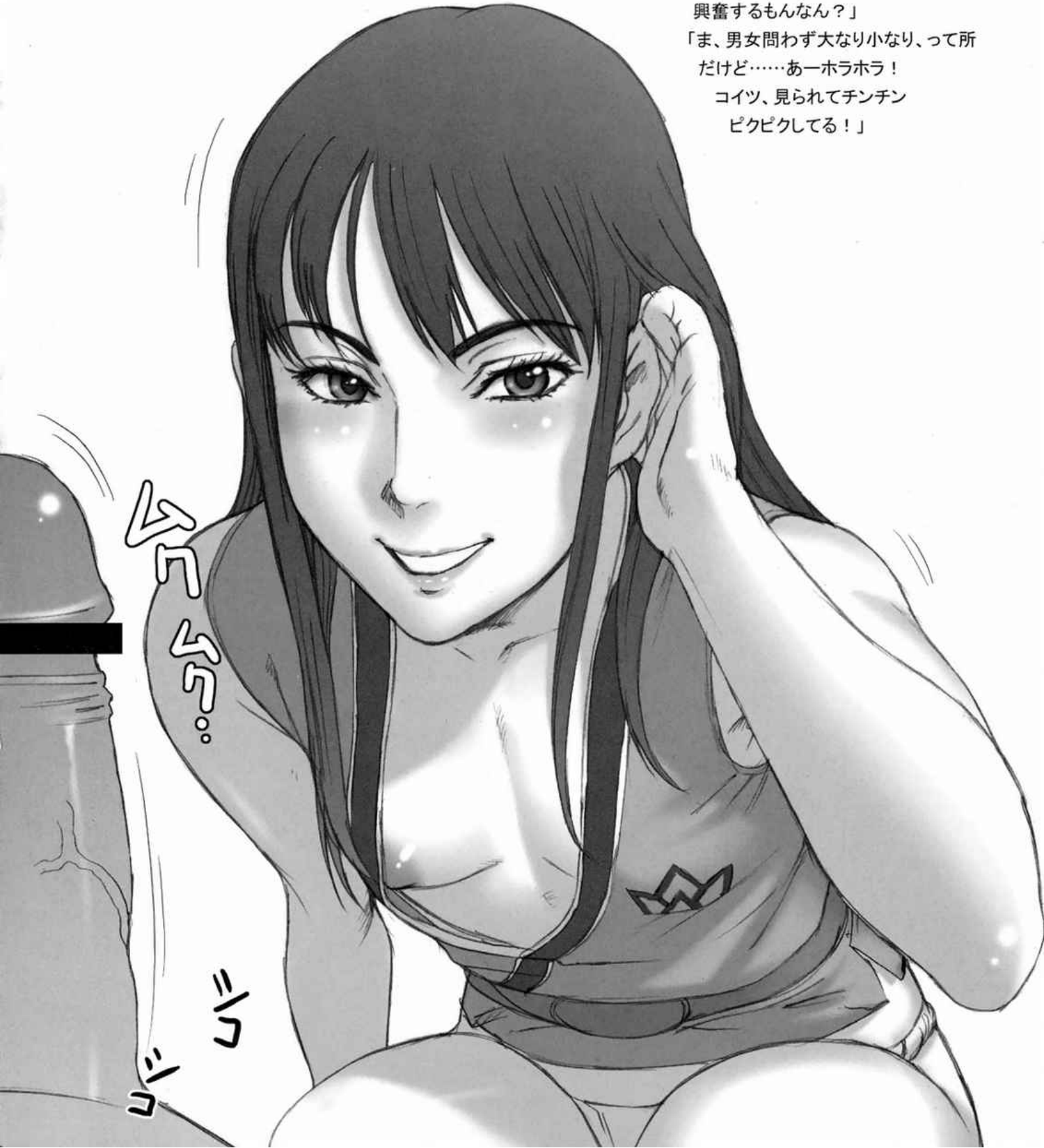
「ん！ じゃあイザって時のために今の内に良く見て慣れておけば？ この人の罰も兼ねて……って

罰にはならないかな？ なんか見られて興奮してるみたいだしw」

「え？ 男の人って、見られるだけで興奮するもんなん？」

「ま、男女問わず大なり小なり、って所だけど……あーホラホラ！

コイツ、見られてチンチンピクピクしてる！」



「わっ、ホンマや！ なんかムクムクしてきたあつ！」

「ふふっ、かーわいい☆ キミ良いわよ？ 私達がジーっと見ててあげるから、遠慮なくシコって。

コソコソ隠れてコスるより、こんな風に間近で見られながらする方が好きなんでしょ？ ほら早くッ！！」

「あッ！ ウソっ……ホンマにチンチンしごいてはるッ！ そない激しく擦って大丈夫な……あれ？ なんかハアハア言い出してはるしw」

「……ねえキミ、さっきから私の胸元チラチラ見てるでしょ？ オツパイの先っぽでも見えるの？

覗きばかりして、バレないだろうって思った？ この変態ッ！」

「うわ、最低やね～。しかも、コスるの止めないんだw そなら、もっとよく見てあげへんとね～ん!? イヤッ・くっさいッ!!」

「え？ なに……クンクン……うッ!!」

ホント臭ッさッ！ 何コレ……アンタ

ちゃんとチンコ洗ってんの!?)

「ホンマにひどいニオイッ……

イヤや……この人がチンチン

しごくたび……ドンドン臭い

匂いが出とる……クンクン

……クサッ！ クンクン……

オエえっ!!」



「ほらほら、さっきも私達のフンドシ姿見ながらシコってたんでしょ？」

「はいどうぞ……オシリ突き出してあげるから、もっとしっかりコスんなさい☆ ホラことはも！」

「あ、うん……でもホンマにこんなんで、ウチのお尻なんかで興奮しはるんやろか？」

「あぁッ……ジッとこっち見て……ハアハア言ってはるうッ」

「嬉しいんでしょ？、さっきまで遠くで覗きただけだったお尻、目の前で見れて……」

「そうなん？ あッ！ 菜子ちゃん下の毛ッ……」

「ふふッ☆ 大丈夫、判ってるからw コイツさっきからソコばっか見てる

もん……ねえ、私の……はみ出た

オマンコの毛見つけて、そんなに

嬉しかったの？」

「ジ〜ッと見つめて、ハアハア言いながら、

犬コロみたいに悦んじゃって……

バツカみたいw」



「うわあ……菜子ちゃん、あないやらしくお尻突き出して……」

「あは☆ ことはだって、フンドシ喰い込ませ過ぎで、オマンコの縦スジ、くっきり見え過ぎ……w それワザと？」

「ち・違うツ、ああんツ・せやかてツ、お尻ぐいっグイッて突き出すたびに……くっ、喰い込むんやからあツ・仕方ないやん……ワザとや無いからあツ……」

「あははw ほら見てみ？ コイツことはの割れ目見ながら、ガンガンにチンコしごいてるよw」

「ああッ、ウチの……イヤらしいスジ見られとるん？ ことはのワレメ見て興奮しとるん？ はあ、はあ……ああんツ！！」

「ちよっ、お尻振り過ぎ……w それ絶対ワザとでしょw」

(ほら、ことはも早く脱いで！)

(嫌や、そんな無理やってえ……)

(イザって時のために慣れときなっ！ それにホラ、黒子は影と同じだし……ことは、見られるの嫌いじゃないでしょ？)

(そ、そないな事あらへんけど……せ、せやな、影に見られてると思えば……)



「はいお待たせ☆ どう？ 私達の裸……見れて嬉しい？」

「あはは♪ この人メッチャうなずいとるよ～？ なんか可愛いねw」

「ほらほら、今日は特別って事で皆には黙っとして  
あげるから、アンタもその覆面取っちゃいなさいよ、

ホラッ！！ あははっ☆ 情けない顔しちゃって……

んー？ ボクちゃんはハアハアしちゃって、

どーしたのかなあ？

先生達の裸見ながらオチンチンイジって……

ボク悪い子ね～ 気持ち良いの！？ ホラッ！！」

「茉莉ちゃん……さすが元幼稚園の先生やねw」



「も〜ッ、コイツさっきからオッパイの先とオマンコばかり、スゴイ  
見てるんだけどw こんなにアソコ、ガン見する男初めて……

もしかして童貞クン？ そうなんでしょ、このセズリマニア  
めツ☆」

「ああ……この人ホンマに、ヤらしい目えて……  
ウチまだ〇6歳なんやで？ こない子供の身体  
なのに…そんなスケベな目えて見たら…アカンてッ  
……ああ〜見られとるうッ……イヤらしい目えて…  
…ハアハア…女のコの大事なトコッ……ウチの  
アソコおツ……めっちゃ見られとるうッ！」







「童貞クン、生でオマンコ見るの初めてでしょ？」

「ほら、大サービス……奥の方まで開いてあげる☆」

「え、茉莉ちゃん……」

「だって童貞クン、夢中でおちんちんシゴいちゃって…なんか可愛いんだもん☆

ああ……ほらオマンコの奥っすっごい見てるっ♪」

「ホンマやこの人、ハアハア言って舌まで出して……茉莉ちゃんのソコ、舐めたがってるんと違う？」

「あはっ♪ ボク先生のココ舐めたいの……？ 絶対ダメッ！！ 触ったら終わりにするからね、わかった!? うん、ボクおりこうさんね☆ そう……良い子イイ子♪ 見るだけよ？ ……ベロがギリギリくっ付かない位まで、近づいて良いから……」

「うわっスゴイ……くくんクンクン、ニオイ嗅ごうと必死やこの人w」

「はあはあ…そんな犬みたいに嗅いで…先生のソコ、恥ずかしい匂いする？ ……ああ…クサあっ…コレ…私の匂いだ…♥ ねえ、先生もおっ…オマンコのニオイ嗅がれて……濡れてきちゃったあ……♥」

「ウソ…こないやらしいコト…したらアカンよお…」

「はあはあ…オチンチンっ…すっごいクサイッ…シコシコする度キツイニオイ出てきて…やらしいチンポッ！ …その臭っさいチンポッ…私のオマンコに…やらしい穴に入れたいんでしょ!? ハアハア…私のココっ…ぐちゅグチュしてっ…すっごい気持ちイイんだからっ♪ あっ…あっ…もうっ…ちんちんハメたいっ♥ でもっ……アンタは絶対っ…入れちゃダメッ！ …侍と黒子じゃ身分違うんだからっ…交わっちゃ…ダメなんだからあッ……アンタはオマンコの匂い嗅ぎながらっ……その汚ったないチンチンっコスるだけだからねッ！！」

「ああ…茉莉ちゃんのアソコ…毛え、もじゃモジャやね…おっぱいの先も、そないトンがって…ウチも男の人にイジられるようになったら、そないやらしい形になるんやろか……」

「何っ!? ことはッ……私のカラダ…ハアハア…そんなやらしい……？」

「うん、やらしい…赤黒い色もやけど、その…ビラビラの形がやらしいわ…そない伸びて拡がってっ……なんやら茉莉ちゃん、ニオイも凄いよ？」

「嫌だ…恥ずかしっ……」

「ホンマ、普段は凜として清楚で、お嬢様みたいで…髪の毛も、いつも良い香りで…なのにこんなやらしい身体して、キツツイ匂いさせて…」

「もう…嫌だあ……♥」

「でもウチは子供やから、やらしい身体羨ましいわ…この人、茉莉ちゃんの身体見て、匂い嗅いで、こない興奮してオチンチンしごいて……」

「……ことは……よし、交代こーたいっ！」

「ええっ!？」

「あああ……ウチこんなん初めてするから、恥ずかしい…」

「ほら、ことはのツルツルおまんこ、嫌らしい眼でたっぷり視姦されてるよ～w これ毛は処理してるの？ いくらなんでも生えてない年じゃないでしょ？」

「あ、うん……元々ウチは子供っぽいから、こうした方が逆に……男の子に好かれる言うて、お姉ちゃんが除毛クリーム送ってくれてん……」

「何それw でも本当、おっぱいもアソコもピンク色…ビラビラはちっちゃいし、乳首も未開発みたいだけど……ん!? クリトリスは皮も完全にムケて、開発されてない？」

「そ、それはっ！ フンドシで歩く練習したから…」

「股間にクイこませてる内に気持ち良くなっちゃったの？ ふふっw ほら、その下の…大事な処女膜しっかり見てもらいなさい☆」

「あ、嫌や…顔、近過ぎやて…」

「ことはの…オシッコの匂いしか、しない…本当にお子様マンコねw 穴も膜付きでカワイイし♪ あ、ほら嗅がれてるよ！」

「あ、イヤや、くんくんしたらアカンてえッ…はッ・ああん♪ 息当たつとるっ…お豆さんにッ、吐く息当たつとるう…ああんッ♪」

「ん？ クリちゃんに息吹きかけられて、気持ち良いんだw ほらキミ、もっとフーふうーッてしちやいな☆」

「あッ！ イヤ～あッ！ あっ♪ あっ♪ だめえ♥ あ…おちんちんコスってはるッ…ウチ大事な所の…恥ずかしいニオイ、嗅がれてて……あっはあ…おちんちん凄いコスつとる…あんっ♥ …そないコスって痛無いの？ そない乱暴にシゴいたらアカンよお…何やソレ…それ見てると…やらしい気持ちになって来る…ウチのせいなん？ ウチの見てそない興奮してまうん？ …ハアハア…恥ずかしいけど……何や…うれしい……♥ あ・あ・ああんッ♥」

「ことは…エッチでカワイイ♪ ねえキミ…私のオナニー姿も、ことはの喘ぎ声もッ…全部覚えたでしょ…で、今日のこと思い出して、またシコシコして…私達の事、一生オカズにする気でしょ？」  
「あっ・はっ・そんな…ウソや…あんッ♥」

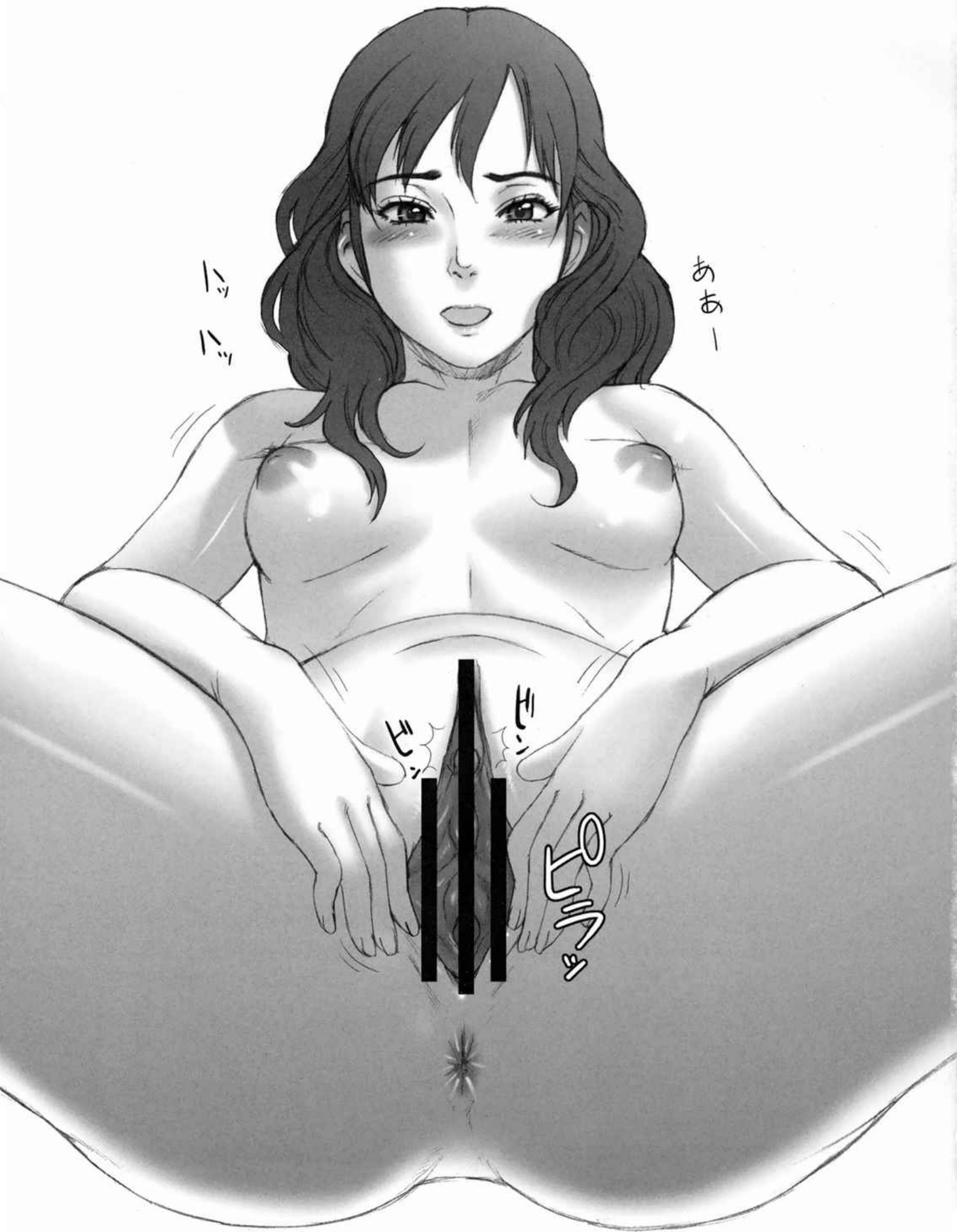
「これから一生ずっと……昼は涼しい顔で黒子の仕事して…ハアハア…夜はまた頭の中で陵辱するんでしょ？ ううん、昼間も覆面の下で……私の顔見ながらキツイマン臭思い出したり…ことはの笑顔見て、処女膜思い出して……こっそりやらしく笑うんだから……そうでしょ!？」

「でもッ…黒子の格好じゃ、ウチらには誰がこの人か判らんよ!? …アカンて…黒子さん見たら…黒子さんみんな、この人やないかって、思てまうよお……」

「そうだよ…私達もずっと…アへ顔見られたのはこの黒子？ それともあっちの黒子？ ってドキドキしながら……今日の事、このやらしいチンポ、思い出すんだよ…きつと、毎日毎日…」

「あ…そんなんウチ、頭おかしくなつてまうよ…でもそれ凄い…ハアハア…ああッ・もうダメえッ♥ 菜子ちゃんッ・ウチ自分で触りたいいッ…！ ウチもうイきたいいッ！」

「ハアハア…私も…アソコっ・イジりたいっ！ ねえ……もうみんなで見せっこしよ…♥」



ム  
ム

あー  
あー

ヒッ

ヒッ

オッ



「あっ♪ 何コレ凄ッごい♥ ずっとムズムズしてたから…? スゴイ気持ちイイっ♪  
自分でしてるのに、こんなッ…こんな気持ち良いオナニー初めてえッ♥」  
「はあはあ…菜子ちゃんの乳首っ、すっごい伸びてる…  
先っぽネジるんそんなキモチええの? アソコの穴も…  
そない指入れて、ぐちゃぐちゃ乱暴に掻き回して…」  
「うんッ♥ コレがイイのお♥ オマンコ良いイッ♥  
ことはの方はッ、やっぱりクリトリス好きなんだねw  
お豆必死にコリコリしちゃって…オツパイ揉んだり、  
乳首触ったりするの初めて? でもイイでしょ…?」  
「あっ・あんッ♥ うんッ・気持ちええのおッ♪  
ウチこんなヤらしい事して…見られて…  
気持ちええのッ♥ 見せて…  
ウチらでオナニーしてる所、  
もっと見せてえッ♥」  
「ホラッ! もっと腰  
突き出してッ!!  
汚ったないチンコお…  
ゴシゴシしてごいてる所、  
もっと良く見せなさいよッ!」



「やだ、この人ホンマ動物みたいにツ凄いハア・ハアしとる…イキそうなん？ ウチらのオナニー見ながらイクん？ ねえ!？」

「はあはあ・ほら…私の事ッ、オナペットにしてッ♥ 菜子の恥かしい格好見てッ♥ 戦隊ヒロインのマンホジ見ながらイキなさいよっ！ ホラッ!!」

「あっズルいッ！ こっち見て、ウチもオカズにしてッ！  
ことはの処女膜ッ・見ながらイッてえ♥」

「あは☆ 何その情けない顔？ ちんぽイキそうなのッ…？ ダメッ・皆いっしょにイクのッ…先にイッたら殺すからねッ！ …ハアハア…ほら我慢しながらチンチンもっとコスって！ もっと…もっとッ!!」

「あっ・ウチもうダメッ・イキたいいッ!!」

「あアッ！ 私もおツ♥ 良いよ皆でイコッ♥

321でイクからねッ・アッ・アッ・さ・3んッ♥」

「にっ♪ ニッ♪ 2いッ♥」

『イツ・イツ・イツ・イツ・イチッ…♥  
良イイツ!! アッ♥ アッ♥  
ア————ツ!!』



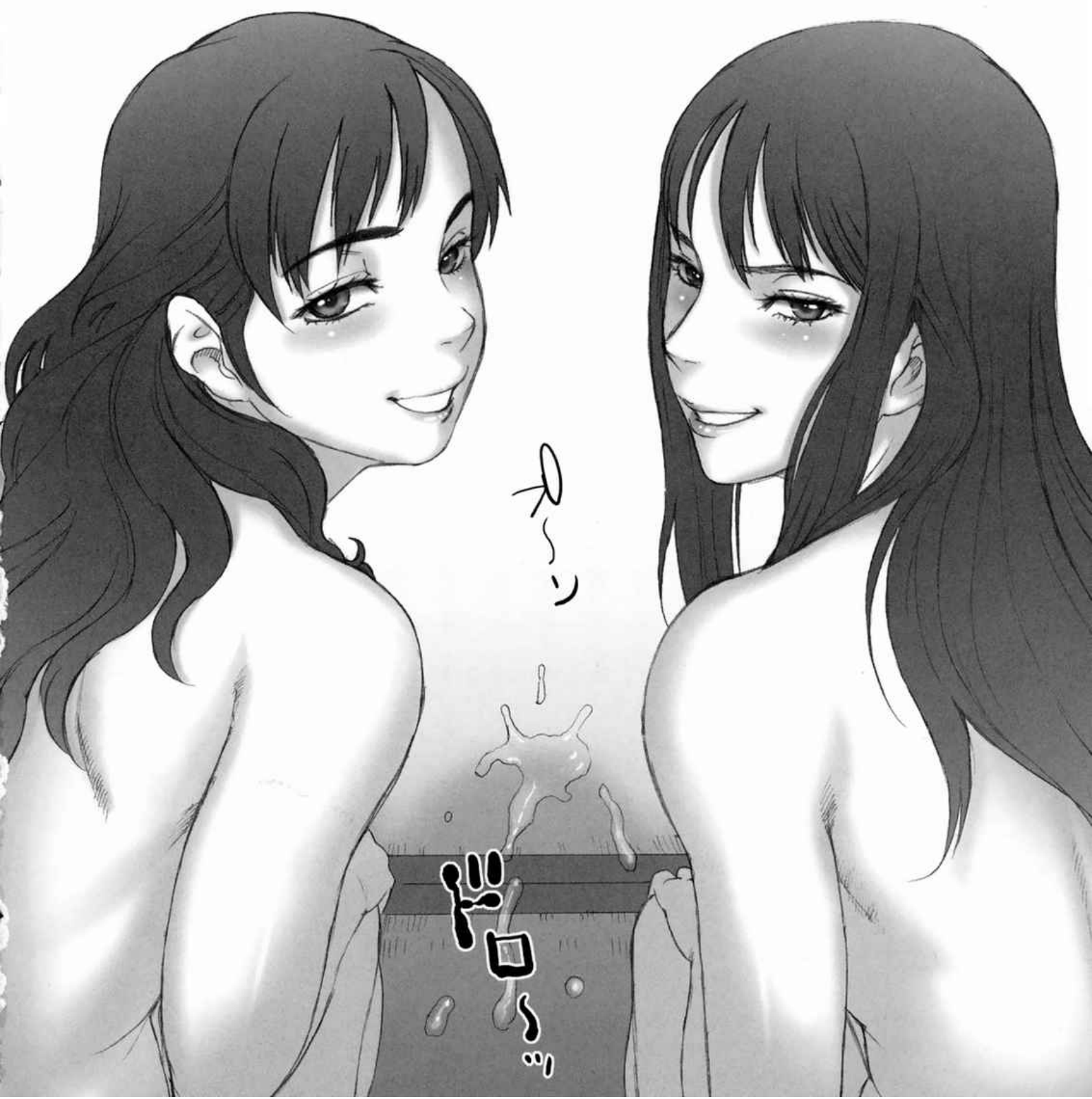
「ハアハア…ホンマにチンチンの先からビュビュってッ…こんなウチ初めて見たあ…クンクン……嫌ッ・臭ッさあッ！！」

「ふふッw ここまで、ドロツと濃くて臭っさいの……私も初めて見た♪キミさあ～、どうやったらココまで汚ったないの出せるの!？」

「でもウチ……コレっ…キモチよかったあ……☆」

「私もッ……こんなイッたの・生まれて初めてえ……♪」

『ねえ……もう一回、シゴいて見せてえ♥』



★オワリニ★

★カクガリ兄

いや毎度の事です  
今回はかなりシンドかったです…  
毎年冬コミ新刊では今年一年を  
振り返ったりするモンなんです  
今回はその余裕も無かたですよ？  
来年は、振り返る余裕があるといいな…

って、来年は2010年ですってよ奥さま！  
なんか冗談みたいな数字…

では皆様、良いお年を☆

★カクガリ弟

思考回路はショート寸前…弟です。  
日々の作業を終えて、寝る前の日課が  
畑中純さんの「まんだら屋の良太」  
という漫画を読む事でした。  
脳内が程よくリフレッシュされ  
股間がムズムズする作品です。

今回の作品も少なからず  
この「まんだら屋の良太」の  
影響を受けていると思います。  
あとは、土山しげるさんの「極道メシ」  
からも、影響を受けているかもw

まあ、全部劇画系なんですけどね～  
…そういや、本編でベルダンディーに  
ケン月影ウォークをさせましたねw  
一度、やってみたかったのよ。  
正確には、擬音は「クイツ クイツ」だと思った。

まあ、ナニはともあれ、楽しんで頂けましたら  
幸いです。

ではでは～。



★このように、常に弟の脳内はオバカで汚染されています♥





# Niku Ringo (Beef&Apple)

☆Staff☆

カクガリ兄  
カクガリ弟  
(合わせて カクガリ兄弟)

☆Presented by☆  
肉りんご (Beef&Apple)

☆Title☆  
NIPPON CHANGE

☆同人誌印刷☆  
PICO様  
(今年も大変お世話になりました)

☆奥付☆  
(ご意見ご感想・要望・お仕事などは下記にお願いします)

☆ホームページアドレス(ブログ)☆  
<http://kgbros.blog37.fc2.com/>

☆メールアドレス☆  
kgbrosbros@yahoo.co.jp

☆注意☆  
本誌に記載する全ての図版・文章を、許可なく  
複製・転載・ネットで公開及びアップロードする事を禁じます



★弟脳内でのエロダンディーイメージ図

「うわ～ ウソでしょ？ 本当に見られながら出しちゃったんだ」  
 「わっ！ 凄いですごいッ！ ホンマに先っほから、びゅびゅって出しはったね☆」  
 「ほらほら、こんなにドロツとして、ネバネバしたの出して…」  
 「へ～、男の人って、こんなん出しはるんや…ペるッ…んッ？ 嫌ッ！ 何なんこのニオイッ！」  
 「ホント臭ッさいわね…ほら、自分で出したのよーく見てみなさいよ？ こんな濃くて  
 キツナイの…どんだけ溜め込んだらこうなるの？ ホラ、ちゃんとこっち見て！！」  
 「あんな、ホンマにコレ、すごいいニオイやで？ どないしたら、こんなクッサイの出せるん？  
 しかもウチらの前で、そないなトコ丸出しにして…恥づかしくないん？」  
 「ふふッw それが良い～んだよね？ 私達に恥かしいトコ見られて…見られながら自分で、  
 その汚くて臭い棒、シコシコってイジるの、すごく興奮するんだよねー？」  
 「うわ…そんなんでも興奮するなんて、ただの変態さんやんか……」  
 「そうよね？ 今だって、きったないナこのニオイ臭がれて、クサイ液ペロペロ舐められて…」  
 「わっ、ホンマや、なんかまたハアハアいってほるう～！」  
 「あはは☆ ホラホラ…」  
 「わあ～、なんでも…」  
 「ん？ 何？」  
 「すごい」  
 「イ」



**NIPPON CHANGE**